

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○8月1日～

ドル高円安の流れに少し変化が出てきそうな感じです。
米国の金融政策が来年以降、緩和的に変化してくるという予想も多く、米株は上昇、ドル高の動きが弱まってきました。
金融引き締めが米国の消費や経済に急ブレーキをかけ始めています。
まだテクニカルではトレンド転換とはなっていませんが流れに変化が出てくるか注視したいです。

<ドル/円>

ドル/円は139円台で反落し、132円台まで7円ほど下落しました。
132.5円を割り込むと6月後半につけた131.5円あたりが下値メド。
上値は135円台後半から136円台あたりの抵抗が意識されます。

<気になるクロス円>

クロス円も上値が重くなってきました。
株価が下げてきたら下落リスクが高まりそうです。
ユーロは日足で高値・安値が切り下がってきているため買いは慎重にいきたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では6月景気先行指数などがあります。
米国では7月製造業・サービス部門・総合PMI（改定値）、7月ISM製造業景況指数、7月ISM非製造業景況指数、6月貿易収支、前週分新規失業保険申請件数、7月雇用統計などの発表があります。
欧州ではユーロ圏とドイツで7月製造業・サービス業PMI（改定値）、ドイツで6月鉱工業生産、ユーロ圏で6月卸売物価指数、6月小売売上高などがあります。
ほかには、オーストラリアと英国で政策金利、中国で財新製造業PMI、英国で英中銀金融政策委員会（MPC）議事要旨の発表などがあります。